

# 「多面的・多角的に考えること」

## を重点とした道徳科の授業づくり

### 第6学年 道徳科学習指導案

1 主題名「いじめをなくすには」（内容項目：C-13 公正、公平、社会正義）

2 教材名「ひきょうだよ」（出典「小学道徳6」教育出版）

#### 3 主題設定の理由

内容項目「公正、公平、社会正義」では、不正な行為は絶対に行わない、許さないという断固たる態度を育成することや、日頃から自分自身の考えをしっかりと持ち、同調圧力に流されないで自分の意志を強くもったり、周りに助けを求めることに躊躇したりしないなど、周囲の雰囲気や人間関係に流されない態度を育てることが求められる。また、差別したり偏見をもったりせずに人間関係を築こうとすることが大切である。

本学級の児童は、幼少期から人間関係が固定化されており、よくも悪くも互いに知った仲であることから、つい乱暴な口調になったり、配慮のない言動が見られたりすることがある。本教材と関連する内容項目である「親切、思いやり」「友情、信頼」「相互理解、寛容」についての道徳科の学習や、人との関わり方について話し合う時は、その内容について真剣に考え、意見を述べることができるが、時間が経つとその思いが薄れてしまう様子が見られる。本時の学習を通して、差別したり偏見をもったりせずに人と関わることについて考える時間を大切にしたい。

本時で活用する教材「ひきょうだよ」は、いじめを受けているたかひろさんのことを知っていながらも、何もすることができずにいたぼくが、たかひろさんの転校を知り、何もできなかったことを謝りに行った際、たかひろさんに「ひきょうだよ。」と思えない言葉を言われ、その言葉について考えるという話である。教材を通して、児童自身がその言葉について自分事として考えることで、いじめは傍観している人にも責任があることを考えさせたい。また、クラウドを活用し意見交流をすることで、自分の見方だけでなく、多角的に考える場面を設定する。

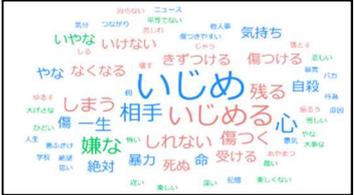
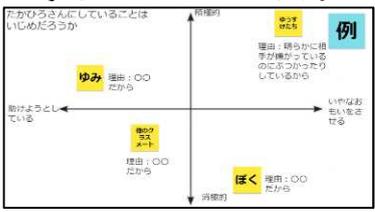
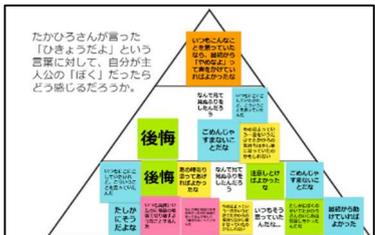
#### 4 本時のねらい

たかひろさんが言った「ひきょうだよ」の言葉に対して、主人公のぼくが感じたことについて話し合うことを通して、いじめを傍観することのひきょうさに気づき、差別したり偏見をもったりせずに振る舞おうとする道徳的判断力を育てる。

#### 5 本授業のポイント

- ① 1人1台端末上で思考ツールを活用し、多面的・多角的に考察する学習を行う。
- ② 物語を自分事として捉えることで、いじめを傍観している人の立場について客観的に考える。
- ③ 授業の終末場面では、本時の道徳的諸価値に関わる自分の在り方を振り返る。

6 本時の展開

	学習活動 ○主な発問 ・予想される児童生徒の発言	留意点や評価の観点 等
導 入	<p>1 いじめに対する自分の考えを交流する 事前に回答したアンケートの結果を確認する</p> <p>○ いじめがなくならないのはどうして。 ・弱い心 ・たくさんの人に流されるから</p>	<p>・事前アンケートの結果について、テキストマイニングを活用し、視覚的に分かりやすく提示する。</p>  <p>・考えることを焦点化する。</p>
展 開	<p>2 教材を読んで、話し合う 前半部分（P80～P82の7行目まで）を読む ○ たかひろさんにしていることはいじめだろうか。 ・ゆうすけさんは、間違いなくいじめだよ ・ゆみさんは、ゆうすけさんたちを止めたから、いじめではないと思う ・主人公の「ぼく」は黙って見ているだけだからいじめに入るんじゃないかな 後半部分を読む ○ たかひろさんの「ひきょうだよ」という言葉に対して、あなたが主人公の「ぼく」だったらどう感じるだろうか。 ・謝って許されることではなかったのだ… ・今まで何で黙って見ていただけだったのだろう ・もっと早く行動しておけば良かった</p> <p>3 別の問題について考えることを通して、道徳的価値についての理解を深める。 学級で起こりがちな問題を話し合うことを通して、道徳的価値について自分事として考える ○ 仲よしグループの4人が、教室で何気なくやっていることについて、次の行動は、いじめと言えるか。 ① 一人の子が無視しようと言って、それに従うこと ② 遊び感覚で筆箱を隠す行為 ③ あだ名を付けて呼び、呼ばれた子も笑っている状況 ・全部いじめになる ・嫌な思いをしているかが大事 ・①はいじめだけど、②と③は迷う</p> <p>○ いじめについて考える上で大切なことは何か。 ・公平な態度で接すること ・傍観しないこと ・周りに流されず、悪いことは悪いと伝えること</p>	<p>・「ゆうすけさんたち」、「ゆみさん」、「ぼく」の三者の立場から考える。</p> <p>・Google Jamboard を活用し、個人でいじめについて考えたことをまとめる。</p>  <p>・Google Jamboard を活用し、グループでの話し合いを通して主人公の思いを整理し、いじめを傍観することもいじめと同様であることに気づき誰に対しても公正、公平に接することについて考えさせる。</p>  <p>【評価の観点】</p> <p>・いじめを傍観せず誰に対しても公正で公平な態度で接することの大切さについて自分事として考えている。</p>

終 末	<p><b>4 教師の説話を聞く</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ いじめの構造について、図を示して紹介し、本時の学習を振り返る。</li> </ul> <p><b>5 学習を振り返り、自分自身の生活を見つめ直す。</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 振り返りの視点を提示する。 <ul style="list-style-type: none"> <li>① 話し合いを通して気付いたこと・共感したこと</li> <li>② いじめをなくすために自分ができること</li> </ul> </li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 学習の振り返りを道徳ノート (Google スライド) に記述し、これまでの生活について考える。</li> </ul> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <p>【日付】 9月 日</p> <p>○ 教材名「 ひきょうだよ 」</p> <p>○ 話し合いを通して気付いたこと、共感したこと</p> <p>○ いじめをなくすために自分にできることは何だろうか。</p> </div>
--------	--	--